

# 薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



2022年  
11月14日  
第141号



## トコン (アカネ科)

温室内の鉢植えで、蕾が出始めました。開くと筒状の白い花が見られます。ブラジル奥地、アマゾン川流域の高温多湿の密林の中だけに自生する高さ30cmほどの小低木です。根が生薬のトコンとなり、トコン末が医療用医薬品として市販されています。トコンは南米インディオの間で古くから疫病に有効な薬木として用いられ、1600年頃に現地に派遣された宣教師がヨーロッパに紹介し、後にパリの医師がフランス王の王太子の赤痢を治療したことから、かつては赤痢の治療薬として使用されていました。最近では、タバコ、化学物質等の異物を誤飲した時に嘔吐を誘導するという、催吐を目的にトコンシロップが使用されていました。しかし現在では、誤飲に対して無理に吐かせる治療はあまり行われず、ダイエット目的で不適切に使用するケースや、不整脈、心不全などの副作用があることから、トコンシロップは2012年に販売中止となりました。

## ヒロハセネガ (ヒメハギ科)

管理棟の前の圃場に、小さな花と果実が見られます。北アメリカ原産の多年草で、アメリカ先住民のセネカ族がこの根を毒ヘビに咬まれた際の救急薬として使用していたのが、薬用のはじまりとされています。根が生薬のセネガとなり、ヨーロッパへ紹介された後で去痰薬として広く知られるようになりました。従って、漢方薬には使用されない生薬です。医療用医薬品ではセネガシロップとして各社から市販されている他、一般用でも各種鎮咳去痰剤に配合されています。成分としてトリテルペノイドサポニンを含み、その界面活性作用により痰を溶かすとか、粘膜刺激による反射で気道分泌が促進するとか、去痰作用の機序は不明です。また、精油成分としてサリチル酸メチルを含み、特徴的な香りがあります。